

《Q》物価高にどう対応するか

《A》国や都の交付金など情報を収集し、必要な支援策を検討する



馳平 耕三 議員（令和かがやき）

物価高・インフレに
どう対応する考えか

質問 急激な物価上昇で最も影響を受ける、生活保護受給者や年金生活者をどう支援していく考えか。

市長 国は住民税非課税世帯等に対し、緊急支援給付金事業を行い、市も緊急支援給付金を支給した。都は、東京おこめクーポン事業を実施する。国や都の交付金、補助金などの情報収集に努め、必要な支援策を引き続き検討していく。

質問 市長は級地区分の見直しの要望書を国の機関に提出したが、その目的は。

市長 職員の地域手当の地域格差是正と介護保険制度



はむら夏まつりの要素を取り入れて新たに開催される産業祭

の地域区分格差の是正を求めためである。

質問 要望書には、地域手当制度で初任給が最低賃金を下回る問題が生じるとあるが、羽村市の現状は。

市長 高卒の市職員の月給額を1か月の平均所定勤務時間数で割ると1010円となり、都の最低賃金の1072円を下回っている。

コロナ後の夏の
イベントの方針を問う

コロナ後でイベントや行事がどう変わるか、より丁寧な説明が必要と考え、質問する。

質問 はむら夏まつりを、産業祭と同時開催するようだが、その理由は。

市長 持続可能な市民まつりとして、新しい生活様式に沿ったイベントとして開催していくためである。

■その他の質問
空き家対策を急げ／羽村駅西口土地区画整理事業は見直しを明言すべき



《Q》市民活動団体へのデジタル化の支援を

《A》LINEで市の公式アカウントの開設を計画している



富永 訓正 議員（公明党）

地域コミュニティを
支える取組みについて

コロナ禍による人的交流機会の大幅な減少や、高齢化、人口減少、町内会・自治会加入率の低下などの課題がある。

質問 地域コミュニティへの充実したサポートを、市民と共に考えては。

市長 市民活動団体交流会を調整のうえ実施し、市民活動の一層の活性化を図り、共に考えていく。

質問 デジタルデバйд解消の取組みや市民活動団体の情報発信、情報へのアクセスなどの充実に向けたデジタル化への支援の取組みは。

市長 スマートフォン講座



街路樹による歩道の根上がり

の実施を継続し、LINEを利用して市公式アカウントを開設し、問合せや情報発信ができるサービスを令和5年度から開始できるように計画している。

公園、街路等での
雑草や樹木管理について

枝落ちや落葉は時に危険があり、落葉時期や日々の雑草の清掃も課題がある。

質問 「イチヨウ」などの落葉除去の負担は大きい。対策の検討をすべきでは。

市長 樹木の状況などを調査し、成長に影響のない範囲で落葉前の剪定を実施している。

質問 街路樹による歩道の根上がりは歩行者などの通行に支障をきたす場面が多い。どう対応するか。

市長 適宜対応、改善を図っている。道路改修等を実施する際には、樹種にも配慮した樹木の更新等を検討していく。



《Q》「羽村駅西口地区都市基盤整備の基本方針」は

《A》区画整理事業をベースに、事業費削減や別手法も検討する



山崎 陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第63弾

質問 「羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」を聞く。

市長 検証会議の提言を受け、土地区画整理事業をベースに事業を進める。令和5年度にアドバイザーの助言等を得て、整備手順や事業費削減の方策、別の整備手法を地区の一部に取り入れられるかを半年かけて検討。権利者や市民の声などを聴く時期は、必要に応じて検討する。

質問 事業開始から20年、これまでの移転棟数は。

市長 予定232棟、実績は176棟を見込んでいる。
質問 2022、2023



新しい家屋も取り壊す、区画整理事業

年度の移転棟数と仮換地先使用は委託期間内か。

市長 2022年度は14棟、2023年度は17棟の移転を含め移転交渉は64棟。仮換地先使用は事業委託終了後の2026年度で、中断

移転棟数は52棟を見込む。
質問 公社委託契約4年間の予算と執行額は。

市長 78億5720万円で、市負担額は4億520万円。2022年度までの3年間の執行額は43億6824万円。市負担額は22億75

14万円。
質問 市長は「仮住まい者の換地先使用が最優先。これ以上広げず、4年の債務負担行為内での事業をする」と、答弁。委託契約終了後の中断移転は、これに反していないか。

市長 実施に当たり、権利者の皆さまへの影響を見極めながら、慎重に対応する。



《Q》給食費の無償化は可能か

《A》財政負担の観点から実現は難しい



櫻沢 康 議員（新緑会）

生活支援について

質問 小・中学校の給食費について、全員に対して所得制限なしの無償化を実施するためには、どのくらいの予算が必要か。

教育長 市の児童・生徒全員の給食費を無償化するには、令和4年度の児童・生徒数で試算すると、小学生分は約1億1800万円、中学生分が約7300万円、合わせて、約1億9100万円の予算が必要となる。
質問 無償化について考えているか。

教育長 無償化の実施の検討については、学校給食組合等との協議が必要であると認識している。現時点では、



小学校給食

財政負担の観点から実現は難しいものと捉えている。

羽村駅西口土地

区画整理事業について
質問 どのような見直しを行うのか。

市長 「羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」に基づき、当該地区の都市基盤整備については、土地区画整理事業をベースに事業を進めていく考えである。併せて、令和5年度に、実務者としての知識と経験を有するアドバイザーの助言等を得ながら、整備手順や事業費削減の方策や土地区画整理事業以外の整備手法をエリアの特性を考慮して地区の一部に取り入れることができるかどうかについて、庁内で検討していく。



《Q》保健室登校や別室登校している子どもたちへの指導は？

《A》授業の空き時間の教師や管理職、支援員が対応



浜中 順 議員（日本共産党）

不登校対策を

早急に強化させよう

質問 保健室登校や別室登校の子どもたちへの指導は、どう行われているか。

教育長 授業の空き時間の教師や管理職、子どもと家庭の支援員が対応している。
質問 主に家で過ごしている子どもは、どの程度学校から働きかけを受け、教育相談をしているか。

教育長 保護者と連携しながら本人との面談等を重ね「学校としっかりつながっている」と実感が持てるよう対応している。

コミュニティ・スクールをすすめるなら合意と準備を
質問 授業準備ができない



市内中学校

ほど多忙な教師や不登校など、現在ある大きな課題にコミュニティ・スクールの導入で、どう効果を出そうと考えているか。

教育長 この取組みの目的は、保護者や地域住民などが学校運営に参画し、特色ある学校づくりを行うと共に学校だけでは解決しがたい課題の改善を図ることである。課題の一つに教師の多忙化があり、導入により一層多忙化させてはならず、本来業務に取り組みやすくなるよう、英知を結集することが重要である。

買い物困難者への対策の強化を

質問 移動販売車による買い物支援の具体策は、どこまで進み、いつ開始するのか。
市長 移動販売などの事業活動の相談があった場合は、積極的に支援していく。



《Q》3・4・12号線は18メートル幅で十分では

《A》道路の幅は、都や警視庁と協議し具現化されていく



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

羽村駅西口区画整理は、今こそ抜本的な見直しを

「羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する基本方針」の具体策を問う。

質問 不要移転棟数を増やし事業費削減、駅前広場の優先整備はどのように進めるのか。

市長 土地区画整理事業をベースに進める。令和5年度は、実務者としての知識と経験を有するアドバイザーの助言を得ながら、整備手順や事業費削減の方策、別の整備手法をエリアの特性を考慮し、地区の一部に取り入れることができるかどうか庁内で検討していく。
質問 市民の意見聴取は



家屋の取り壊しが続いている

つ行うのか。

市長 必要に応じ検討する。
質問 都市計画道路3・4・12号線は、18メートル幅で十分ではないか。

市長 24メートルから40メートルの幅員だが、今後東京都や警視庁との協議を踏まえ、具現化されるものと捉えている。

契約制度の改革を

さらに進めよう

質問 羽村市の契約する業務で、男女間の賃金格差について把握しているか。

市長 男女間の賃金格差について把握していないが、各法令を遵守し、賃金の支払いがされていると捉えている。

質問 公契約条例は、非正規雇用の改善や男女間の賃金格差の解消につながると考えるが、どうか。

市長 賃金格差の解消に一定の効果があると考えるが、事務執行体制や事業者の理解など課題があり、研究していく。



《Q》下水道使用料の適正化を

《A》必要な見直しを行う



印南 修太 議員（自由民主党創生）

次世代へ向けた

持続可能なまちづくり

上下水道事業について

質問 第二次羽村市水道ビジョンには、令和2年度末時点

時点で法定耐用年数を経過している管路は全体の26.5パーセントとある。そのうち、多くが昭和40年以前に布設された石綿セメント管が羽村駅西口土地区画整理事業地区内にあるとなっている。優先的に管種替えはできないか。

市長 現状のまま行うことは、多額の二重投資となり、その後の事業計画全体に影響が生じるため区画道路築造工事など、事業の進捗に合わせて、管種替えを進め



安全な水を供給する羽村市水道事務所

ていく。

質問 財源試算の検討結果

によると、令和6年度に水道料金の改定が必要とあるがどの程度を考えているか。

市長 約10パーセントの料金改定が必要と推計している。電気料等の上昇分の料金転嫁も併せて検討する必要がある。

質問 下水道使用料はピーク時から33パーセント減少している。健全経営のためにも、使用料の適正化を図るべきではないか。

市長 令和3年度末の赤字の累計額は、2億円を超え、事業経営の健全化に向けて、早急に対策を行う必要がある。水道料金と同様、来年度に開催する使用料等審議会に、その適正化について意見を伺い、必要な見直しを行う。



《Q》区画整理事業は変わらないのでは？との声もあるが

《A》検証会議からの提言を最大限尊重し、方針を示した



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

結局、区画整理事業は

変わらないのか？

質問 事業の検証に基づく方針が示された。市長は公約を達成したと考えているのか。

市長 私の公約である「区画整理事業の検証」は、「客観性を担保した組織により事業の検証を行い、市の方向性を導き出す」ことである。

質問 「ほとんど変わらないのではないか？」との市民の声がある。どう受け止めているか。

市長 検証会議からは、専門的な知見に基づき、公平公正な視点で提言をいただいた。市はこれを最大限尊重する考えのもと、検討を



羽村駅西口駅前

重ね基本方針をお示しした。これまでの質問を

ふりかえり、再度問う

質問 学校給食を無料にする自治体が増えている。羽村市も実施すべきでは。

教育長 現時点では、財政負担の観点から難しい。

質問 江戸街道公園の早期整備を進めるべきでは。

市長 土地の購入、活用方針の検討をしていかなければならないと認識している。

質問 「ひきこもり相談窓口・支援センター」を設置するべきでは。

市長 子育て支援課、社会福祉課が窓口となつて、通年で相談を受け付けている。

質問 すべての学校への太陽光パネル設置は、どう進められているか。

市長 補助金を活用し、屋上防水工事とあわせて実施できるように、検討する。



《Q》コミュニティ・スクールの周知が必要では

《A》情報発信に努め、透明性のある運営に努める



水野 義裕 議員（令和かがやき）



コミュニティ・スクールを導入する市内中学校

コミュニティ・スクール
について

質問 学校評議員会と学校支援地域本部制度の課題は。
教育長 前者は、学校によつては、評議員と学校とのやりとりが不十分のまま学校関係者評価が実施されたことである。後者は、いじめや不登校、子どもと向き合う時間の確保など、より多様な地域の教育力が必要になっていることである。
質問 コミュニティ・スクールの導入でそれらの課題にどう対応するのか。
教育長 協議すべき学校運営の課題が的確に取り扱われるよう、校長が課題を具体的に提示した上で、課題

解決型の協議の活性化を図っていく。

質問 実施にあたり市民への周知がこれまで以上に必要では。
教育長 地域住民の理解・協力が不可欠である。委員会の議事録を公表するなど透明性のある運営に努める。

内申制度の問題点について
質問 内申制度にどう取り組んできたか。
教育長 「評価の規準や方法等を事前に教師同士が検討し明確にすること」「評価に関与する実践事例を蓄積し共有すること」「評価結果についての検討を通じて教師の力量を高めること」「生徒及び保護者に、年度当初に評価の規準や方法を説明すること」を指示している。

■その他の質問
羽村駅西口土地区画整理事業の今後について



会派名簿

新緑会

さくらざわ やすし
櫻沢 康
かじ まさあき
梶 正明
たか かつと
高田 和登
はまなか としお
濱中 俊男

公明党

なかじま まさる
中嶋 勝
とみなが のりまさ
富永 訓正
にしかわ みさほ
西川美佐保
いし い ひさお
石居 尚郎

令和かがやき

おつか あかね
大塚あかね
はせひら こうぞう
馳平 耕三
みず の よしひろ
水野 義裕

日本共産党

はまなか じゅん
浜中 順
すずき たくや
鈴木 拓也

新政会

あきやま よしのり
秋山 義徳
とみまつ たかし
富松 崇

世論

やまざき よういち
山崎 陽一

市民ネットワーク

もんま ひでこ
門間 淑子

自由民主党創生

いんなみ しゅうた
印南 修太

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

市議会からのお知らせ

羽村市議会の個人情報の保護に関する条例を制定しました

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会が保有する個人情報の適正な取り扱いに関し、必要な事項を定めるため、「羽村市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました。

常任委員会の名称および所管を変更します

社会情勢の変化等に対応し、より効率的・効果的な審査を行うため、常任委員会の名称等を変更しました。令和5年5月1日からの名称は次のとおりです。

総務委員会（変更なし）、経済委員会⇒環境まちづくり委員会、厚生委員会⇒文教厚生委員会

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和5年2月1日～令和5年4月30日の主な活動

2月

- 1日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 2日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第105回理事会
■ 全国市議会議長会基地協議会第86回総会
- 6日 ■ 第61回東京都市議会議長会議員研修会(府中の森芸術劇場)
■ 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
- 8日 ■ 令和5年第1回瑞穂斎場組合議会定例会
■ 行政視察受入れ(沖縄県北中城村議会)
- 9日 ■ 令和5年第1回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会
- 13日 ■ 令和5年第1回西多摩衛生組合議会定例会
■ 西多摩衛生組合議会議員全員協議会
- 16日 ■ 東京都市議会議長会理事会
■ 東京都市議会議長会定例総会
- 20日 ■ 第1回議会運営委員会
■ 第1回議員全員協議会
■ 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
■ 令和5年第1回東京たま広域資源組合議会定例会
- 21日 ■ 令和5年東京市町村総合事務組合議会第1回定例会
- 22日 ■ 令和5年第1回福生病院企業団議会定例会
- 28日 ■ 第1回羽村市議会定例会(初日)

3月

- 1日 ■ 第1回羽村市議会定例会(2日目)
- 2日 ■ 第1回羽村市議会定例会(3日目)
- 6日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 7日 ■ 第1回羽村市議会定例会(4日目)
- 9日 ■ 第2回議会運営委員会
■ 第1回総務委員会
- 10日 ■ 第1回経済委員会
■ 第1回厚生委員会
- 14日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(当初予算)
- 15日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(当初予算)
- 16日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(当初予算)
■ 第1回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
- 22日 ■ 第3回議会運営委員会
■ 第1回羽村市基地対策特別委員会
- 23日 ■ 令和5年第1回羽村市土地開発公社評議員会
- 24日 ■ 第1回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第4回議会運営委員会
■ 第2回議員全員協議会
- 27日 ■ 第2回広報委員会

4月

- 5日 ■ 東京都市議会議長会監事会
- 10日 ■ 第3回広報委員会
- 12日 ■ 行政視察受入れ(島根県益田市議会)
- 14日 ■ 東京都市議会議長会正副会長会議
- 25日 ■ 東京都市議会議長会理事会・臨時総会

しぎかいカレンダー

●第2回定例会(6月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				6/1 陳情メ	2	3
4	5 議運	6	7	8	9	10
11	12	13 本会議	14 本会議	15 本会議	16 本会議	17
18	19	20 予特 (補正)	21 常任委	22 常任委	23	24
25	26	27 議運	28	29	30 本会議	

- 陳情メ…請願・陳情の6月定例会審議予定分の締切
 - 議 運…議会運営委員会
 - 常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 - 予特(補正)
…一般会計等予算審査特別委員会(令和5年度補正予算)
- ※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう! 知ろう!

～次の定例会は6月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで!**
感染症対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、咳エチケットや手指消毒などのご協力をお願いします。
傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができていきます。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記



【広報委員会委員】

富松 崇(委員長)
山崎 陽一(副委員長)
櫻沢 康 浜中 順
大塚 あかね 西川 美佐保
石居 尚郎 濱中 俊男

3月定例会では、令和5年度予算を審議し議決しました。依然、財政状況が厳しい中、議員が市民の皆さまの声を受け、質疑を行い討論を交わし、議決した予算です。また、教育行政にかかわる新規条例など重要な議案も審議し、議決しました。一般質問では、各議員が市政に対し、熱のこもった質問を行いました。今後の市政にどう反映されていくか確認してまいります。

ここで、全議員が任期満了を迎え、現在の広報委員会のメンバーでの編集は最後になります。これからも「わかりやすい」「読みやすい」「親しみやすい」議会だよりを目指してまいります。
(櫻沢)

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889
Tel 042(555)1111(内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。